

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東  
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,365	△2.8	201	467.8	162	—	71	—
27年3月期第2四半期	3,462	△0.3	35	326.0	△17	—	△35	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △34百万円( —%) 27年3月期第2四半期 △7百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第2四半期	円 銭 3.05	円 銭 —
27年3月期第2四半期	△1.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第2四半期	百万円 9,379	百万円 4,386	% 43.1
27年3月期	9,844	4,532	42.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,038百万円 27年3月期 4,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 1.40	円 銭 1.40
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,300	1.6	350	90.7	250	212.8	150	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	23,484,226株	27年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	319,900株	27年3月期	600株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	23,469,511株	27年3月期2Q	23,484,081株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

●この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出企業の好調な業績等を背景に総じて回復基調で推移いたしました。中国経済の減速感が鮮明となり、新興国を中心に経済成長見通しが悪化するなどの影響で期間後半においては景気回復に一部減速感が出てまいりました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高3,365百万円(前年同期比2.8%減)、営業利益201百万円(前年同期比467.8%増)、経常利益162百万円(前年同期は経常損失17百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、電子書籍販売や広告関連売上などが期を通じて好調で、オンライン書籍販売が当第2四半期連結会計期間において好調に転じた反面、期初における書店店頭販売減少の影響及び特定販売先に対する一時的な信用コスト計上などにより、売上高1,135百万円(前年同期比5.3%減)、セグメント利益(営業利益)99百万円(前年同期比14.6%減)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、当第2四半期連結会計期間において売上が回復し増収に転じたものの、外注コスト増加の影響などにより、売上高402百万円(前年同期比5.3%増)、セグメント利益(営業利益)35百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、スマートフォンコンテンツ事業及びオンラインゲーム事業が期を通じて好調を維持し、売上高713百万円(前年同期比4.9%減)、セグメント利益(営業利益)136百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)と大幅増益となりました。

インターネットカフェ事業におきましては、不採算店舗の閉鎖や管理者層の育成などを図った結果、売上高584百万円(前年同期比4.6%減)、セグメント利益(営業利益)9百万円(前年同期比12.8%減)と黒字化いたしました。

教育・人材事業におきましては、利益率の高い法人向けサーバ製品販売や医療業界向け人材紹介など成長分野への売上シフト加速化及び全社的な固定費削減努力などにより、売上高475百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益(営業利益)8百万円(前年同期はセグメント損失11百万円)となりました。

投資運用事業におきましては、保有債券の償還や利息・配当金収入の増加などにより、売上高53百万円(前年同期比50.4%増)、セグメント利益(営業利益)29百万円(前年同期比68.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金337百万円減少並びに現金及び預金107百万円減少を主因に、前連結会計年度末比464百万円減の9,379百万円となりました。負債については、有利子負債143百万円減少、流動負債その他85百万円減少及び買掛金73百万円減少を主因に、前連結会計年度末比318百万円減の4,993百万円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金104百万円減少及び自己株式取得59百万円を主因に、前連結会計年度末比145百万円減の4,386百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、2,588百万円と前連結会計年度末比157百万円の減少(前年同期は366百万円の減少)となりました。

営業活動の結果得られた資金は217百万円(前年同期比312.5%増)となりました。収入の主な内訳は売上債権の減少337百万円及び税金等調整前四半期純利益127百万円であり、支出の主な内訳は営業投資有価証券の増加131百万円であります。

投資活動の結果使用した資金は110百万円(前年同期比132.0%増)となりました。収入の主な内訳は投資有価証券の売却による収入7百万円であり、支出の主な内訳は定期預金の預入による支出50百万円及び有形固定資産の取得による支出41百万円であります。

財務活動の結果使用した資金は264百万円(前年同期比29.3%減)となりました。収入の主な内訳は長期借入れによる収入525百万円であり、支出の主な内訳は長期借入金の返済による支出482百万円及び社債の償還による支出362百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月23日付で開示いたしました「連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」の内容のとおり、第2四半期連結累計期間までの業績予想の修正による影響及び今後の事業環境を勘案し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきまして、平成27年5月8日に公表いたしました平成28年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正致しました。

## ■平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,300	300	220	120	5.11
今回発表予想(B)	7,300	350	250	150	6.43
増減額(B-A)	0	50	30	30	—
増減率(%)	0.0	16.7	13.6	25.0	—
(ご参考)前期連結実績 (平成27年3月期)	7,183	183	79	△26	△1.14

## (業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績等の予想数字につきましては現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、業況の変化などにより、上記業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会  
社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載  
し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売  
却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載してお  
ります。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58—2項(4)、連結会計基準第44—5項(4)及び事  
業分離等会計基準第57—4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から  
将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円  
減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が6百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,973	2,865
受取手形及び売掛金	1,525	1,188
有価証券	20	20
営業投資有価証券	1,128	1,181
商品及び製品	919	910
仕掛品	96	143
原材料及び貯蔵品	21	18
繰延税金資産	59	58
その他	112	107
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	6,858	6,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,618	1,553
減価償却累計額	△866	△818
建物及び構築物(純額)	751	735
土地	1,089	1,089
その他	897	850
減価償却累計額	△799	△763
その他(純額)	97	87
有形固定資産合計	1,938	1,912
無形固定資産		
のれん	1	-
その他	57	58
無形固定資産合計	58	58
投資その他の資産		
投資有価証券	315	237
敷金及び保証金	419	424
繰延税金資産	114	110
その他	147	160
貸倒引当金	△7	△16
投資その他の資産合計	988	915
固定資産合計	2,986	2,886
資産合計	9,844	9,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	440	367
1年内償還予定の社債	775	598
短期借入金	1,172	1,180
未払法人税等	25	25
賞与引当金	34	37
返品調整引当金	101	104
その他	617	532
流動負債合計	3,167	2,845
固定負債		
社債	811	826
長期借入金	853	863
役員退職慰労引当金	78	80
退職給付に係る負債	264	270
資産除去債務	29	27
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	100	71
固定負債合計	2,144	2,148
負債合計	5,312	4,993
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,853	1,846
利益剰余金	504	543
自己株式	△0	△60
株主資本合計	3,892	3,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	157
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	278	174
新株予約権	4	2
非支配株主持分	356	345
純資産合計	4,532	4,386
負債純資産合計	9,844	9,379



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,462	3,365
売上原価	2,104	2,064
売上総利益	1,358	1,300
返品調整引当金繰入額	-	2
返品調整引当金戻入額	9	-
差引売上総利益	1,367	1,297
販売費及び一般管理費	1,331	1,096
営業利益	35	201
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取家賃	1	2
償却債権取立益	-	1
その他	3	4
営業外収益合計	5	9
営業外費用		
支払利息	22	19
社債発行費	15	7
支払保証料	7	5
その他	14	15
営業外費用合計	59	48
経常利益又は経常損失(△)	△17	162
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	-	5
新株予約権戻入益	0	0
持分変動利益	0	-
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	3	4
減損損失	-	3
店舗撤退損失	-	21
のれん償却額	-	0
倉庫移転費用	-	9
特別損失合計	3	41
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△21	127
法人税、住民税及び事業税	13	28
法人税等調整額	11	29
法人税等合計	24	57
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45	69
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35	71

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45	69
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	△104
土地再評価差額金	-	0
その他の包括利益合計	38	△104
四半期包括利益	△7	△34
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	△33
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△21	127
減価償却費	68	66
長期前払費用償却額	6	5
減損損失	-	3
のれん償却額	-	1
新株予約権戻入益	△0	△0
店舗撤退損失	-	21
倉庫移転費用	-	9
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△5
固定資産除却損	3	4
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
社債発行費	15	7
持分変動損益(△は益)	△0	-
為替差損益(△は益)	6	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	3
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	5
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△9	2
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	22	19
売上債権の増減額(△は増加)	232	337
たな卸資産の増減額(△は増加)	△98	△33
仕入債務の増減額(△は減少)	△74	△73
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△74	△131
未払金の増減額(△は減少)	10	△42
未払消費税等の増減額(△は減少)	17	△55
未収消費税等の増減額(△は増加)	0	-
その他	6	△43
小計	126	242
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△22	△17
法人税等の支払額	△54	△26
法人税等の還付額	3	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	52	217

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10	△50
有形固定資産の取得による支出	△34	△41
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△6	△20
無形固定資産の売却による収入	1	-
投資有価証券の売却による収入	7	7
長期前払費用の取得による支出	△5	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△5
敷金及び保証金の回収による収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47	△110
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△57	△23
長期借入れによる収入	150	525
長期借入金の返済による支出	△121	△482
社債の発行による収入	284	192
社債の償還による支出	△589	△362
リース債務の返済による支出	△2	△2
新株予約権行使による収入	0	3
自己株式の取得による支出	△0	△59
子会社の自己株式の取得による支出	-	△11
配当金の支払額	△32	△33
非支配株主への配当金の支払額	△3	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△6
その他	-	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△373	△264
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△366	△157
現金及び現金同等物の期首残高	3,092	2,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,725	2,588

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,198	382	750	612	483	35	3,462	—	3,462
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	25	2	37	—	5	—	70	△70	—
計	1,224	384	788	612	489	35	3,533	△70	3,462
セグメント利益又はセグメント損失(△)	116	41	△6	10	△11	17	168	△132	35

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額△132百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△154百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「有価証券投資事業」について量的な重要性が増したため、事業名称を「投資運用事業」と変更した上で、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	出版	コーポ レート サービス	ソフト ウェア・ ネット ワーク	インター ネット カフェ	教育・ 人材	投資運用	計		
売上高									
(1)外部顧客に対する売上高	1,135	402	713	584	475	53	3,365	—	3,365
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	20	—	30	—	6	—	56	△56	—
計	1,155	402	743	584	481	53	3,421	△56	3,365
セグメント利益	99	35	136	9	8	29	319	△117	201

(注) 1 セグメント利益の調整額△117百万円には、セグメント間の内部取引消去21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△139百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の売上原価及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。